

## 液晶ディスプレイ

# LCD22WMGX

(TFT22W90PS)

## 取扱説明書



■この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全のために必ず守ること」は、液晶ディスプレイをご使用前に必ず読んで正しくお使いください。

■保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

■取扱説明書と「セットアップマニュアル」は「保証書」と共に大切に保管してください。

もくじ	ページ
ご使用前に .....	2
何ができるの? .....	2
付属品の確認 .....	3
本書の見かた .....	3
安全のために必ず守ること .....	5
各部の名称 .....	8
本体正面 .....	8
本体背面 .....	9
接続 .....	10
ベーススタンドを取り付ける .....	10
接続方法について (PC 入力選択時) .....	10
接続する .....	11
ヘッドホンの接続 .....	15
付属のユーティリティディスクについて .....	15
設定 .....	16
自動調節をする (PC アナログ接続の場合) .....	16
ビデオや DVD を見る .....	16
画面調節 (OSD 機能) .....	17
OSD 画面の基本操作 .....	18
OSD 機能の各選択項目について .....	19
OSD 機能による画面の調節が必要となる場合 .....	22
機能 .....	23
その他の機能について .....	23
困ったとき .....	24
故障かな?と思ったら .....	24
本機を廃棄するには(リサイクルに関する情報) .....	27
保証とアフターサービス .....	27
付録 .....	28
再梱包するとき .....	28
市販のアームを取りつけるとき .....	28
用語解説 .....	29
仕様 .....	31
FCC .....	32
さくいん .....	裏表紙

ご使用のために  
安全のために  
:

各部の  
名称

接続  
設定

画面  
調節  
機能

困った  
とき

付  
録

# ご使用の前に

## 何ができるの？

### 2台のコンピューターをひとつのディスプレイで切り替え表示

#### ■ 2系統入力 (→P10)

2台のコンピューターを本機につなぎ、コンピューターの画面を切り替えて表示させることができます。

### ステレオスピーカー内蔵 (2W+2W)

#### ■ ヘッドホン端子も装備 (→P15)

### 明るさや色の調節をしたい

#### ■ OSD 機能 (On Screen Display) (→P17)

画面の明るさ、表示位置やサイズ、カラー調節などをOSD画面により調節することができます。OSD機能そのものに関する操作 (OSD オートオフ、OSD ロックなど) もできます。

#### ■ DV MODE (Dynamic Visual Mode) (→P19)

スポーツ番組や映画などの動画、または写真や文章などの静止画、それぞれに合わせた最適な画質を6つのモードからお選びいただけます。

### スタンドの角度を調節したい

#### ■ スタンド調節機能 (→P15)

角度を前後方向に調節することができます。

本機は、デジタルとアナログ両方の信号を受けて画像を表示することができます。接続に際しての詳細は「接続方法について」(→P10)に記載してあります。

## PC 入力系

接続方法	コンピューターの機種	コンピューターの出力端子	画面の自動調節
デジタル接続	 Windows シリーズ* <sup>1</sup>  Macintosh シリーズ* <sup>2</sup>	DVI-D 端子または DVI-I 端子	不要 (つなぐだけでご使用になれます)
アナログ接続	 Windows シリーズ* <sup>1</sup>  Macintosh シリーズ* <sup>2</sup>	DVI-I 端子* <sup>3</sup> 、ミニ D-SUB15 ピン端子または D-SUB15 ピン端子	要 (→P16)
2 系統入力	 Windows シリーズ* <sup>1</sup>  Macintosh シリーズ* <sup>2</sup>	デジタル出力端子とアナログ出力端子を併用します。	要 (アナログ接続のみ) (→P16)

※ 1 Windows®をご使用の方は、セットアップ情報をインストールすることをお奨めいたします。詳しくは「Windows®セットアップについて」をご覧ください。(→P15)

※ 2 Apple Macintosh シリーズコンピューターは、モデルにより出力端子が異なります。変換アダプター (市販) が必要となる場合があります。詳しくは「接続方法について」(→P10)をご覧ください。

※ 3 DVI-I 端子によるアナログ接続には、変換アダプター (市販) 等が必要となります。詳しくは「接続方法について」(→P10)をご覧ください。

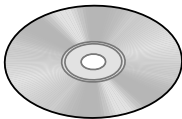
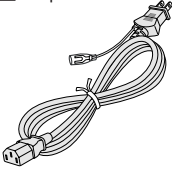
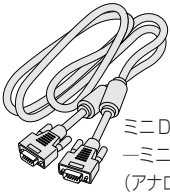
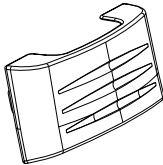

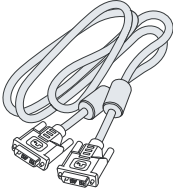
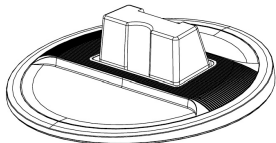
## ビデオ入力系

映像機器の出力信号	機種	映像入力端子	音声入力端子
コンポーネント映像出力 または D 端子出力* <sup>1</sup>	BS デジタルチューナー、 DVD プレーヤーなど	コンポーネント 映像入力端子	ビ デ オ 音 声 入力端子
HDMI 出力	BS デジタルチューナー、 DVD プレーヤーなど	HDMI 入力端子	HDMI 入力端子

※ 1 D 端子による接続には、変換ケーブル (市販) 等が必要となります。詳しくは「映像機器と接続する」(→P12)をご覧ください。

## 付属品の確認

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。  
万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。

<p>ユーティリティーディスク (テストパターン、取扱説明書および Windows 用セットアップ情報 (→P15) Windows®&amp;Macintosh 対応)</p> 	<p>電源コード</p> 	<p>信号ケーブル</p>  <p>ミニD-SUB15ピン ーミニD-SUB15ピン (アナログ接続用)</p>	<p>ケーブルホルダー</p> 
	<p>オーディオケーブル</p> 	<p>DVI-DーDVI-Dケーブル (デジタル接続用)</p> 	<p>ベーススタンド</p> 
	<p>セットアップマニュアル 保証書</p>		

ご使用の前に  
安全のために…

## 本書の見かた

### 本書の表記のしかた

**お願い**： 取扱い上、特に守っていただきたい内容

**お知らせ**： 取扱い上、参考にしていただきたい内容

(→PXX)： 参考にしていただきたいページ

**Win Mac**： Windows®とMacintosh両方に関わる内容

**Win**： Windows®のみに関わる内容

**Mac**： Macintoshのみに関わる内容

### 知りたいことを探すために

やりたいことから探す→「何ができるの？」(→P2)

説明の内容から探す→「本書の構成と分類」(→P3)

言葉と意味で探す→「用語解説」(→P29)

もくじで探す→「もくじ」(→表紙)

さくいんで探す→「さくいん」(→裏表紙)

### 本書の構成と分類

本書では、本機を安全かつ快適にお使いいただくために、以下のように説明を分類しています。

#### ご使用の前に (→P2)

ご使用のコンピューターと本機の接続方法によって、お客様が必要となる説明がどこに記載されているのかを把握していただくための説明です。

#### 安全のために必ず守ること (→P5)

万が一の事故を回避するための使用方法に関する注意事項です。

#### 各部の名称 (→P8)

後に続く「接続」や「画面設定」などの説明に際して、本機の各部の名称とその位置を把握いただくための説明です。

#### 接続 (→P10)

ご使用のコンピューターと本機を接続して使用するまでに必要な手順を説明しています。

#### 画面調節 (OSD機能) (→P17)

画面の調節やOSD機能の設定をする際の手順や各機能について説明しています。

#### 機能 (→P23)

本機に装備された機能で、OSD機能以外の機能についての説明をしています。

#### 困ったとき (→P24)

故障の疑いがあるなど、困ったときの対処方法などを説明しています。

#### 付録 (→P28)

用語の解説、さくいんなどを掲載しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

本機は付属の電源コードおよび信号ケーブルを使用した状態で VCCI 基準に適合しています。



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

本商品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界」に関するガイドラインに適合しています。



本製品は JEITA 「PC グリーンラベル制度」の審査基準（2007 年度版）を満たしています。詳細は、Web サイト <http://www.jeita.or.jp> をご覧ください。



グリーンマーク

JIS C 0950(通称 J-Moss)とは、電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法を規定した日本工業規格です。特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有状況により、次の2種類の表示マークがあります。

- ・含有マーク：特定の化学物質が含有率基準値を超える製品に付与するマーク
- ・グリーンマーク：同化学物質が含有率基準値以下（但し除外項目あり）である製品にメーカーが任意で表示することができるマーク

本製品に表示されているマークは、グリーンマークです。

製品の情報は、<http://www.nec-display.com/environment/j-moss.html> をご覧ください。

## お知らせ

液晶ディスプレイは、精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットが見えることがあります。これは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。本製品のドット抜けの割合は0.0002%以下です。

本製品は、ISO-13406-2 基準に従い、ドット抜けの割合基準値は 1 サブピクセル（副画素）単位で計算しております。

【注】一般的な言い方として「画素」を「ドット」という言葉で表現しておりますが、ISO13406-2に従い、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル (pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル (sub pixels)」となります。

つまり、「画素」は実体のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

■本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。

■本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。

■本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。

Windows®は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。



Macintosh は、米国 Apple, Inc の商標です。

HDMI、HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC の商標および登録商標です。

その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

# 安全のために必ず守ること

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。  
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 <b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 <b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	---	---	-------------------------------------


図記号の意味は次のとおりです。

	絶対におこなわないでください。		必ず指示に従いおこなってください。
	絶対に分解・修理・改造はしないでください。		必ずアースリード線を接地（アース）してください。
	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。		高圧注意（本体後面に表示）

●ご使用前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。



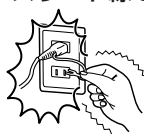

## 警告

**万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜き液晶ディスプレイを安全な場所に移動する!!**

スタンド部にひびや亀裂がある、液晶ディスプレイがぐらつく、異臭がするなどの異常がある場合、そのまま使用すると、液晶ディスプレイの落下・火災・感電の原因になります。  
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて安全な場所に移動させ、販売店に修理をご依頼ください。  プラグを抜く

地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減する為に、転倒・落下防止対策をおこなってください。転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものです。全ての地震に対してその効果を保証するものではありません。


<p><b>故障（画面が映らないなど）や煙、変な音・においがするときは使わない</b></p>   <p>使用禁止</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>	<p><b>裏ぶたをはずさない</b></p>   <p>分解禁止</p> <p>内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。</p>	<p><b>傾斜面や不安定な場所に置かない</b></p>   <p>禁止</p> <p>落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。</p>
<p><b>電源コードを傷つけない</b></p>   <p>傷つけ禁止</p> <p>コードをひっぱる</p> <p>重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を加えたりしないこと。コードが破損して火災・感電の原因になります。</p>	<p><b>キャビネットを破損したときは使わない</b></p>   <p>使用禁止</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>	<p><b>異物をいれない</b></p> <p>特にお子さまにご注意</p>   <p>禁止</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>

<p><b>アース線を接続する</b></p> <p>アース線を接続しないと故障のときに感電の原因になります。</p> <p>アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前におこなってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。</p>  <p>アース線を接続せよ</p>	<p><b>風呂場や水のかかるところに置かない</b></p> <p>水などが液晶ディスプレイの内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因になります。</p>  <p>水ぬれ禁止</p>	<p><b>アースリード線を挿入・接触しない</b></p>   <p>禁止</p> <p>電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因になります。</p>
--	---	---

ご使用前に安全のために…



# 警告

<p><b>正しい電源電圧で使用する</b></p> <p>指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因になります。</p> <p>一般のご家庭のコンセント(AC100V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外(最大AC240V)でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。</p> <p>本機に添付している電源コードは本機専用です。</p> <p>安全のため他の機器には使用できません。</p>		<p><b>修理・改造をしない</b></p> <p>けが・火災・感電の原因になります。</p>	 <p>修理・改造禁止</p>	<p><b>液晶を口にしない</b></p> <p>液晶パネルが破損し、液晶が漏れ出た場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりすると、中毒を起こす原因になります。</p> <p>万一口に入ってしまったり、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。手や衣類に付いてしまった場合は、アルコールなどで拭き取り、水洗いしてください。</p>	 <p>警告</p>
	<p><b>ポリ袋で遊ばない</b></p> <p>特にお子さまにご注意</p> <p>本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因になります。</p>	 <p>禁止</p>	<p><b>雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない</b></p> <p>感電の原因になります。</p>		 <p>接触禁止</p>
	<p>安全のため他の機器には使用できません。</p>				

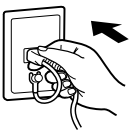











ご使用のために…

# 注意

設置のときは次のことをお守りください。  
風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。








<p><b>狭い所に置かない</b></p>   <p>設置禁止</p>	<p><b>あお向けや横倒し、さかさまにしない</b></p>   <p>禁止</p>	<p><b>直射日光や熱器具のそばに置かない</b></p>   <p>設置禁止</p>
<p><b>布などで通風孔をふさがない</b></p>   <p>禁止</p>	<p><b>屋外での使用禁止</b></p>   <p>屋外での使用禁止</p> <p>本機は屋内での使用を想定しています。屋外で使用すると故障の原因になることがあります。</p>	<p><b>湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない</b></p>   <p>設置禁止</p>
<p><b>車載用禁止</b></p> <p>車載用など移動用途には使用できません。故障の原因になることがあります。</p>  <p>禁止</p>		
<p><b>液晶パネルに衝撃を加えない</b></p> <p>破損してけがや故障の原因になります。</p>   <p>禁止</p>	<p><b>接続線をつけたまま移動しない</b></p> <p>火災・感電の原因になります。電源プラグや機器間の接続線ははずしたことを確認の上、移動してください。</p>   <p>禁止</p>	
<p><b>電源プラグを持って抜く</b></p> <p>コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因になります。</p>   <p>プラグを持つ</p>	<p><b>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</b></p> <p>感電の原因になります。</p>   <p>ぬれ手禁止</p>	

# ⚠ 注意

<p><b>電源プラグを奥までさしこむ</b></p> <p>しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となることがあります。</p>   <p>しっかりと差し込む</p>	<p><b>お手入れの際は電源プラグを抜く</b></p> <p>感電の原因になります。 During servicing, disconnect the plug from the socket-outlet.</p>  <p>プラグを抜く</p>
<p><b>液晶ディスプレイを廃棄する場合</b></p> <p>液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には水銀が含まれています。ご自身で廃棄しないでください。本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づく、回収・リサイクルにご協力ください。（→P27：本機を廃棄するには）</p>	<p><b>スタンドに指をはさまない</b></p> <p>角度調節時に指をはさむとけがの原因になります。</p>   <p>ケガに注意 手の挟みこみに注意</p>
<p><b>1年に一度は内部掃除を</b></p> <p>内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。 内部掃除は販売店にご依頼ください。</p>   <p>内部掃除</p>	<p><b>長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く</b></p>  <p>プラグを抜く</p> <p><b>電源プラグのほこりなどは定期的にとる</b></p> <p>火災の原因になります。 1年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。</p>   <p>ほこりを取る</p>
<p><b>推奨の溶剤でお手入れする</b></p> <p>キャビネット及びスタンドの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質・ひび割れしたり、塗装がはげる原因となります。（化学ぞうきんご使用の際は、その注意書きに従ってください。）また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。同様にキャビネット及びスタンドが変色したり、変質・ひび割れするなどの原因となります。パネル表面のお手入れにつきましても、溶剤を使用される場合は以下のものを推奨いたします。その際は溶剤が残らないようにしてください。（水、エタノール、イソプロピルアルコール） 推奨以外の溶剤（酸、アルカリ、アセトン等）は使用しないでください。溶剤類や水滴等が液晶ディスプレイ内部に入ったり表示面以外の液晶ディスプレイ表面に付着すると、商品を破壊する恐れがあります。</p>	<p><b>使用禁止</b></p>   <p>シンナー ベンジン 殺虫剤</p>

ご使用の前に  
安全のために...

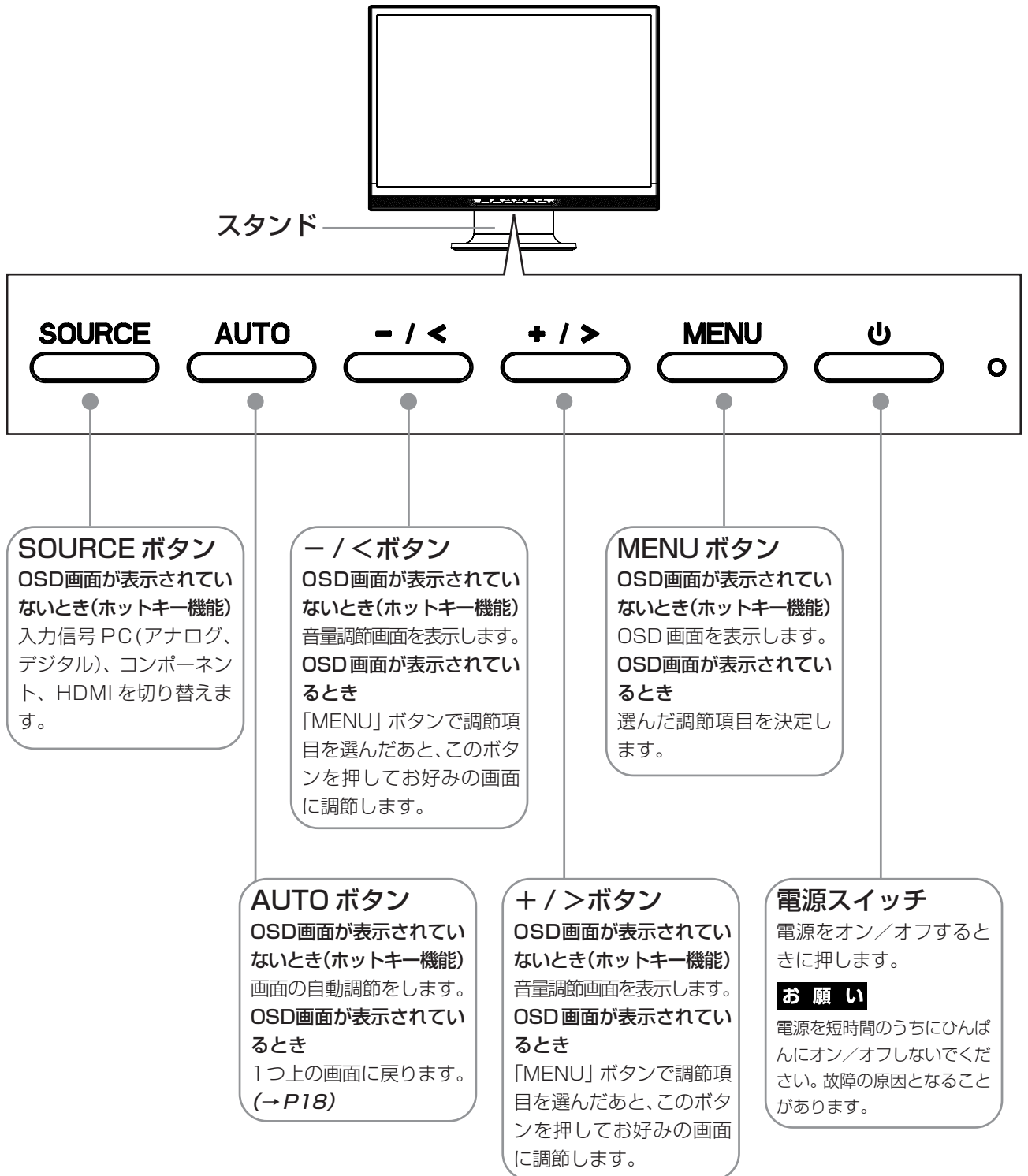
## 液晶ディスプレイの上手な使い方

<p><b>キャビネットのお手入れ</b></p> <p>お手入れの際は電源プラグを抜いてください。柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。溶剤をご使用の際は“推奨の溶剤でお手入れする”にて使用できる溶剤をご確認ください。</p>  <p>プラグを抜く</p>  <p>中性洗剤</p>	
<p><b>液晶パネルのお手入れ</b></p> <p>パネル表面は傷つきやすいので、固いもので押しついたりこすったりしないように、取り扱いには十分注意してください。パネル表面は触指などにより汚れることのないようにご注意ください。パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふきとってください。またきれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。溶剤をご使用の際は“推奨の溶剤でお手入れする”にて使用できる溶剤をご確認ください。</p> 	
<p><b>上手な見方</b></p> <p>画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～70cmはなれたぐらいが見やすく目の疲れが少なくなります。明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。</p>	
<p><b>日本国内専用です</b></p> <p>この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。 日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。 またこの商品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。 This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.</p>  <p>国内専用</p>  <p>For use in Japan only</p>	<p><b>キャビネットを傷めないために</b></p> <p>キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質したり、塗装がはげる原因となります。（化学ぞうきんご使用の際は、その注意書きに従ってください。）また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットが変色したり、変質するなどの原因となります。</p>  <p>使用禁止</p>  <p>シンナー ベンジン 殺虫剤</p>

**⚠ 重要なお知らせ 残像について** 残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが、故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

# 各部の名称

## 本体正面

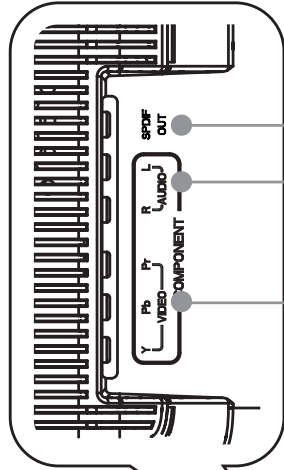


### お知らせ

● 各ボタンによる詳しいOSD画面の操作については「OSD画面の基本操作」(→P18)をご覧ください。



## 本体背面



### デジタル音声出力端子 (S/PDIF OUT)

同軸デジタル音声入力端子を持つデジタルAVアンプなどのオーディオ機器を接続します。

### ビデオ音声入力端子(RCA)

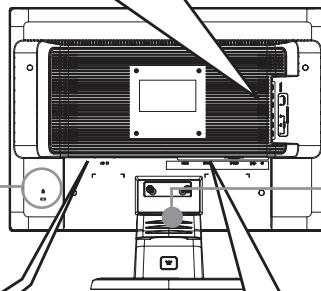
DVDプレーヤー、デジタルチューナーなどの映像機器からのオーディオケーブルを接続します。

### コンポーネント映像入力端子(RCA)

DVDプレーヤー、デジタルチューナーなどの映像機器を接続します。

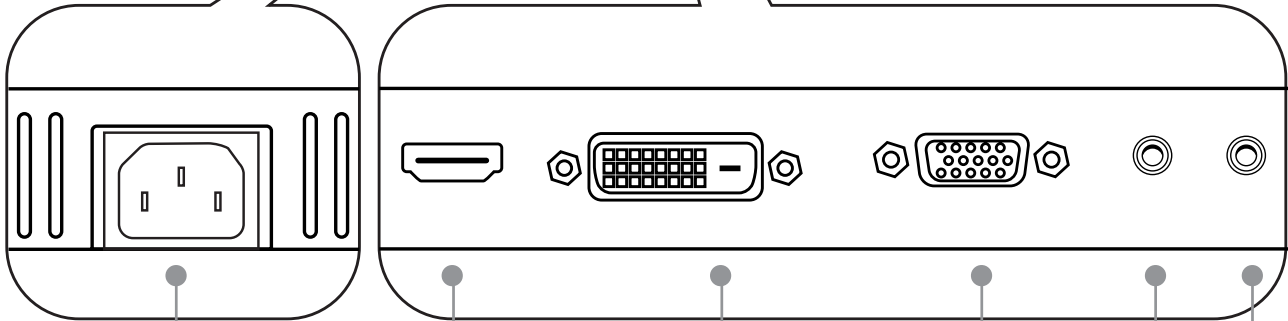
### 盗難防止用ロック穴

盗難防止用のキー (Kensington 社製) を取りつけられます。



### ケーブルフォルダー

コンピュータ接続後のケーブルをすっきりとまとめます。



### 電源入力端子

電源コードを接続します。

### HDMI 入力端子

DVD プレーヤー、デジタルチューナーなどの映像機器からの HDMI ケーブルを接続します。

#### お願い

HDMI 規格に準拠した機器と接続してください。

### 信号入力端子 (アナログ)

ミニ D-SUB 15 ピンケーブルを接続します。

### オーディオ入力端子

コンピュータからのオーディオケーブルを接続します。

### 信号入力端子 (デジタル)

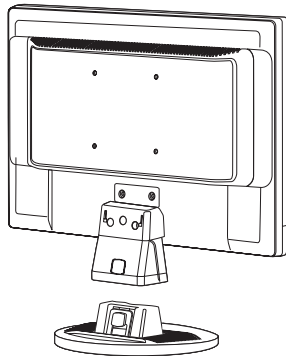
DVI-D ケーブルを接続します。

### ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続して使用できます。

## ベーススタンドを取り付ける

下図のように水平な机の上にベーススタンドを置いてください。ベーススタンドのくぼみに本体スタンド部をあわせ、奥までしっかりさし込んでください。



### ⚠ 注意

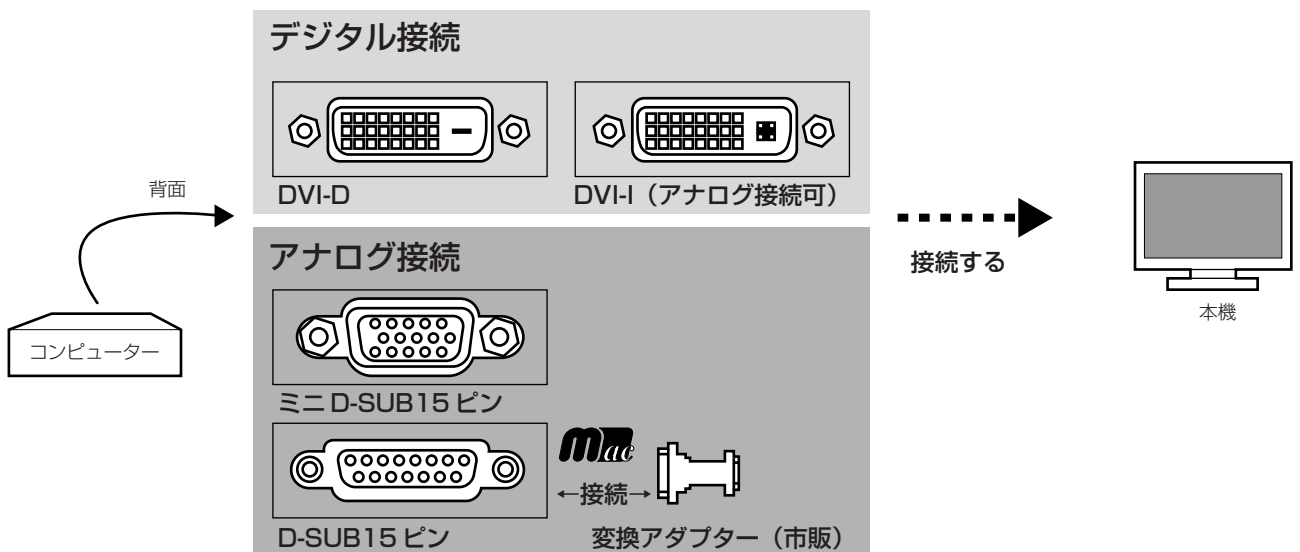
ベーススタンドと本体スタンド部が確実に取り付けられていないと本体が斜めになったり外れたりする恐れがあります。

取り付けの際にベーススタンドと本体スタンドの四隅に段差がなく均一な面になっていることを確認してください。


ベーススタンドに本体を取り付ける際に指をはさまないように注意してください。

## 接続方法について (PC 入力選択時)

本機の信号入力コネクタは、アナログ信号(ミニD-SUB15ピン)とデジタル信号(DVI-D)に対応しています。また、2台のコンピューターを同時に本機に接続し、表示する入力を切り替えて使うことができます。ご使用のコンピューターの出力端子の形状をお確かめになり、本機の信号コネクタに接続してください。それぞれの接続に対応したケーブルをご使用ください。



### 接続コネクタと信号ケーブル対応表

ディスプレイ側 / コンピューター側	ミニ D-SUB15 ピン (INPUT1)	DVI-D (INPUT2)
DVI-I(アナログ接続/デジタル接続)	ミニ D-SUB15 ピン— ミニ D-SUB15 ピンケーブルで接続 (市販の変換アダプターが必要)	DVI-D—DVI-D ケーブルで接続
DVI-D (デジタル接続)	接続できません	DVI-D—DVI-D ケーブルで接続
ミニ D-SUB15 ピン (アナログ接続)	ミニ D-SUB15 ピン— ミニ D-SUB15 ピンケーブルで接続	接続できません
D-SUB15 ピン (アナログ接続) 	ミニ D-SUB15 ピン— ミニ D-SUB15 ピンケーブルで接続 (市販の変換アダプターが必要)	接続できません

## 接続する

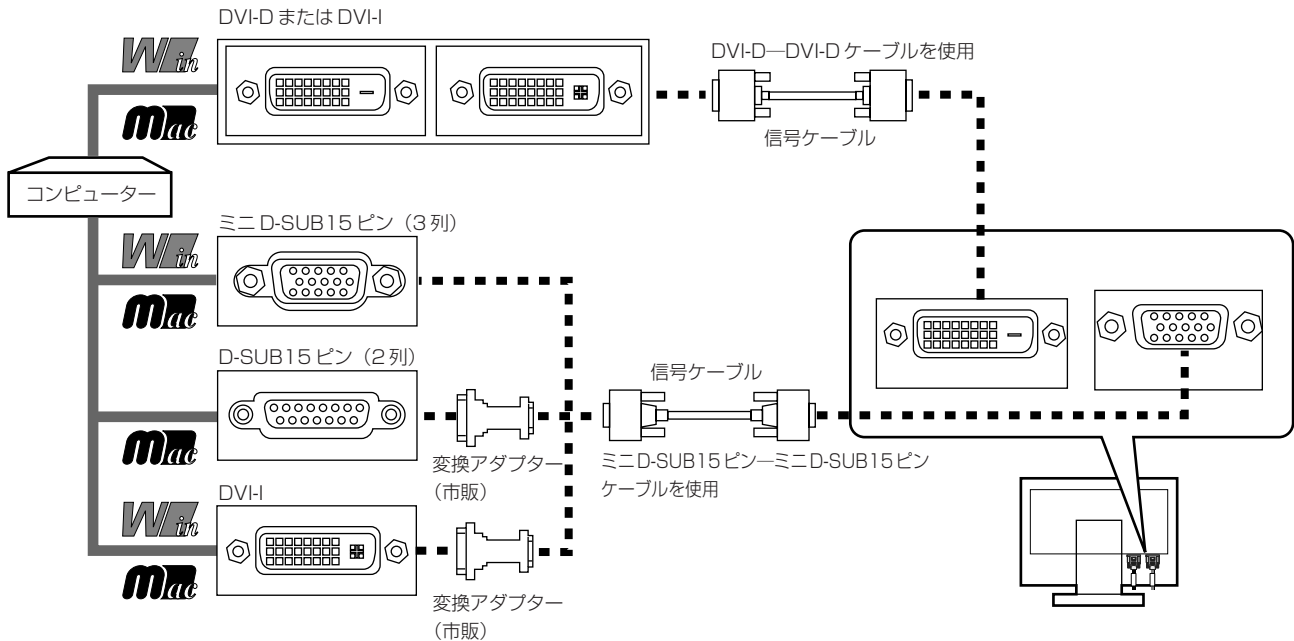
### お願い

- 信号ケーブルを接続する前に、本機、コンピューター、映像機器および周辺機器の電源を切ってください。

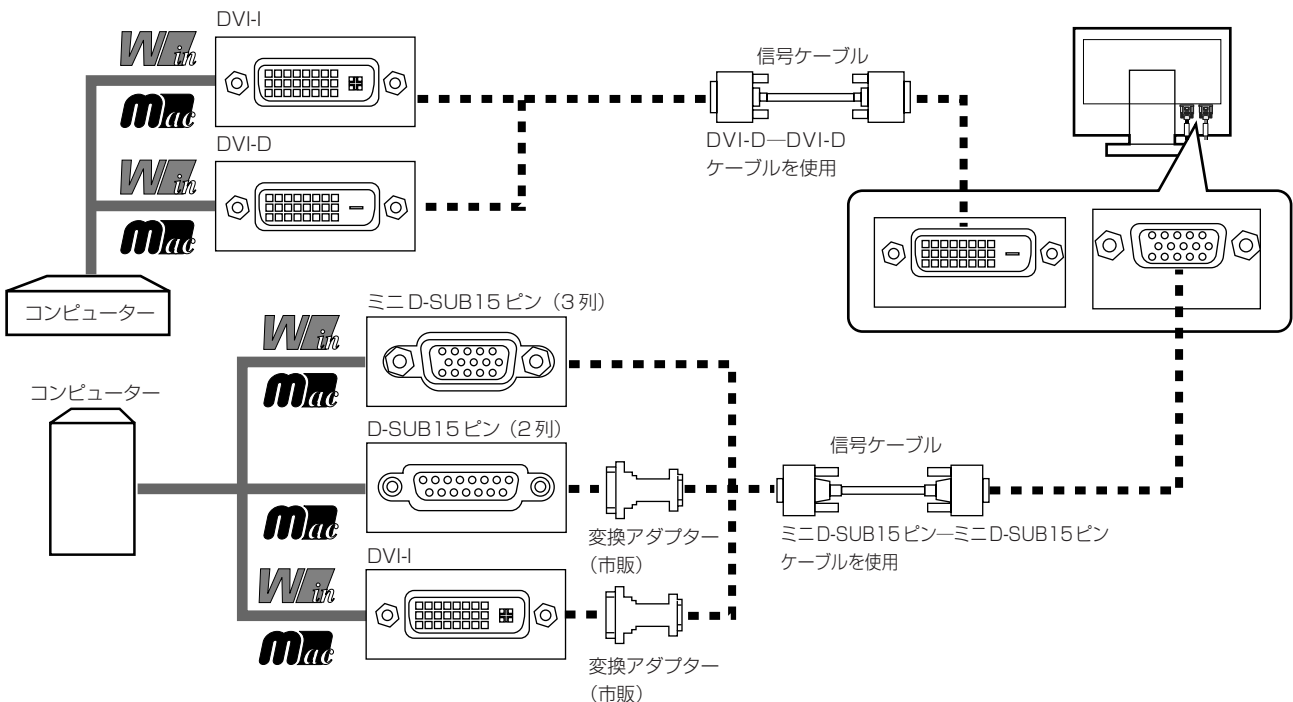
### 1 コンピューターと接続する

信号ケーブルおよび変換アダプターは、コネクターの向きを確かめ、垂直に奥までしっかりと差し込んでください。接続後は、必ずそれぞれの固定ネジで確実に固定してください。

#### 1 台のコンピューターをつなぐ場合



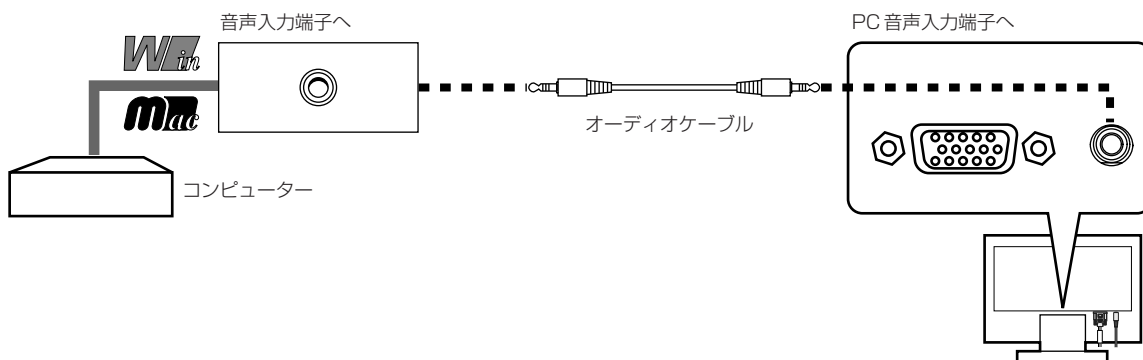
#### 2 台のコンピューターをつなぐ場合 (2系統入力)



- ※ Apple Macintosh シリーズコンピューターは、モデルによりアナログ RGB 出力コネクタが異なります。
- ※ デジタル接続のみで 2 台のコンピューターを接続することはできません。
- ※ 本液晶ディスプレイに DVI-A では接続できません。

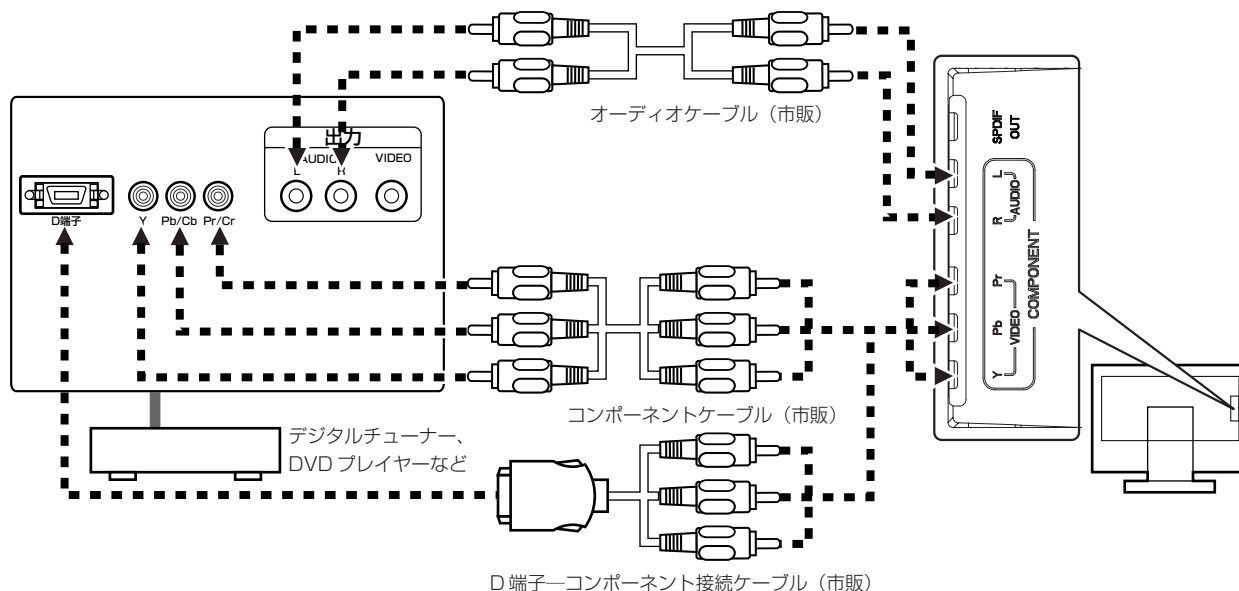
## 2 オーディオケーブルを接続する

- 1 オーディオケーブルの一方のプラグをPC 音声入力端子（水色）に奥までしっかり差し込む
- 2 オーディオケーブルのもう一方のプラグをコンピューターの音声入力端子（緑色）に差し込む



## 3 映像機器と接続する

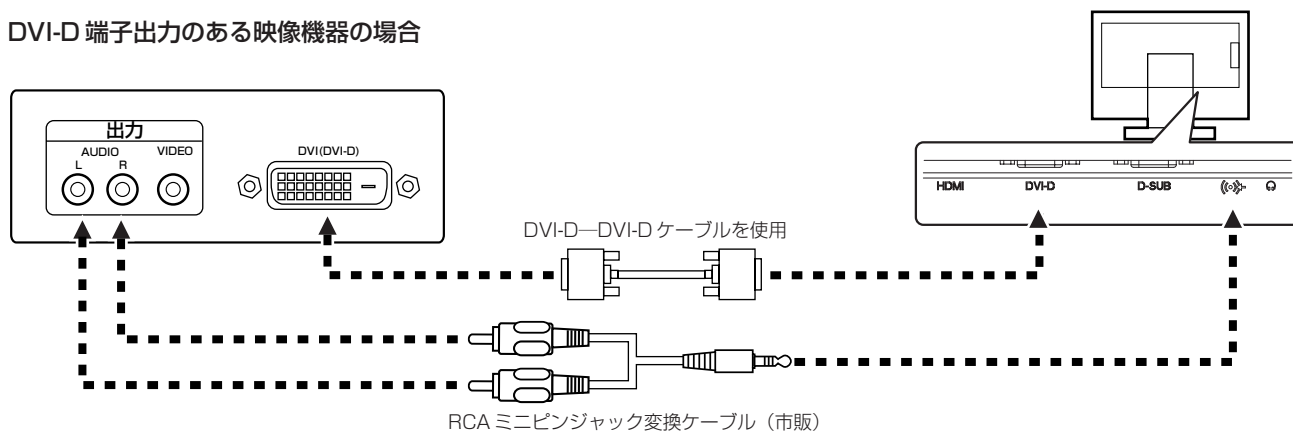
コンポーネント映像出力に対応した映像機器の場合



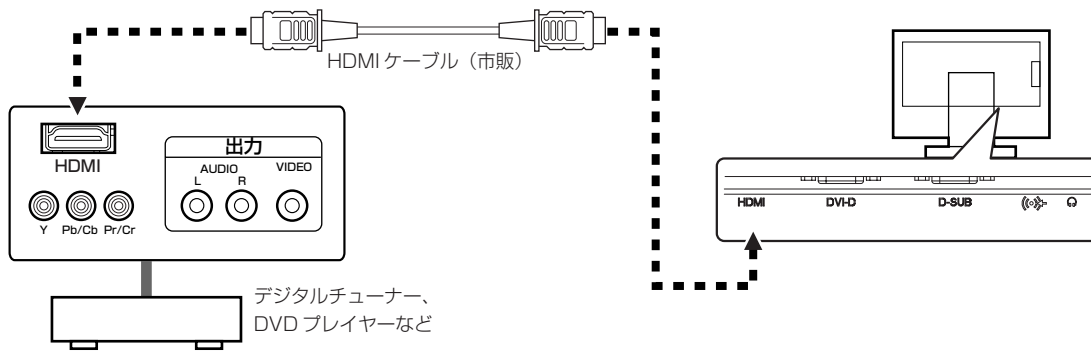
### お知らせ

- 機器側の接続方法については、ご使用になる機器の取扱説明書もあわせてご参照ください。
- 一部の製品では専用ケーブルが必要となります。接続機器の取扱説明書をご参照のうえ、専用ケーブルを購入してください。

DVI-D 端子出力のある映像機器の場合



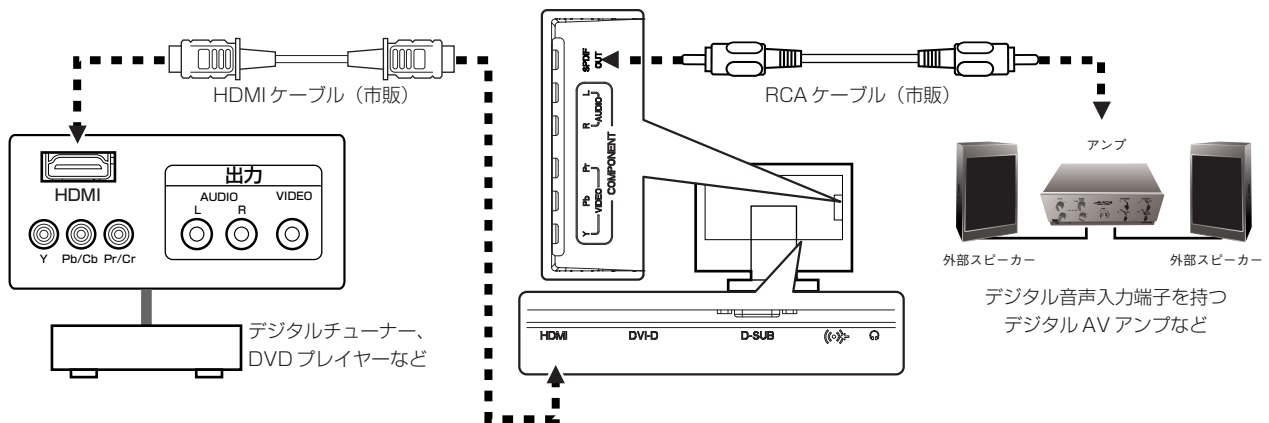
## HDMI 出力端子のある機器との接続



### お知らせ

- HDMI ケーブルは HDMI ロゴがついているものをご使用ください。
- HDMI 機器によっては、映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- コンピュータからの信号を HDMI コネクタに接続しても正常に表示されない場合があります。

## ステレオアンプとの接続



### お知らせ

- 機器側の接続方法については、ご使用になる機器の取扱説明書もあわせてご参照ください。



## 4 電源を接続する

### お願い

- コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、電源容量を確認してください。(1.0A 以上必要です。)
- 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに接続してください。

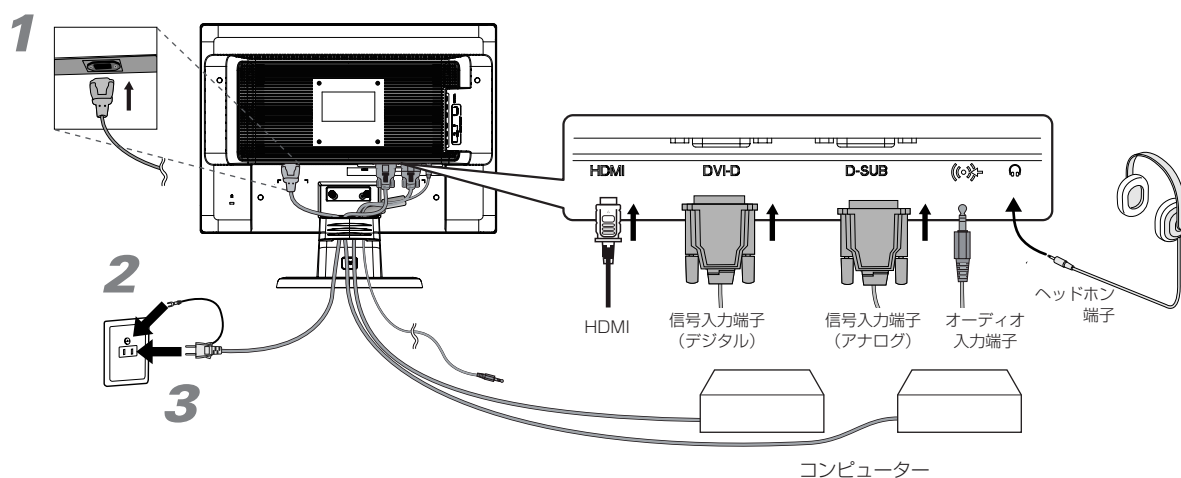
### 1 電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクタに差し込む

#### お願い

- 奥までしっかりと差し込んでください。
- 本機の角度を変えても、ケーブルが外れないことを確認してください。

### 2 アースリード線を接地（アース接続）する

### 3 電源プラグを AC100V 電源コンセントに接続する



### 警告

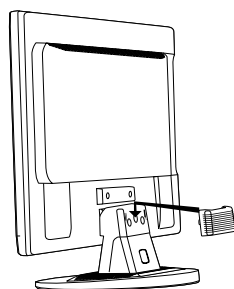
- ・ 表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
- ・ 本機には一般のご家庭のコンセント（AC100V）でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外（最大AC240V）でご使用の際は、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。
- ・ 電源プラグのアースリード線は必ず接地（アース）してください。  
なお、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。  
また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
- ・ 本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

### お願い

- 電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。  
This socket-outlet shall be installed near the equipment and shall be easily accessible.

### 4 ケーブルフォルダーを取り付ける

スタンド背面のくぼみにケーブルフォルダーをあわせ、矢印方向にしっかり差し込んでください。



### 注意

取り付け、取り外しの際は、ケーブルフォルダーに指をはさまれないように気をつけてください。けがの原因となることがあります。取り外しの際は、ケーブルフォルダーのツメを片方ずつ取り外して下さい。

### 5 本機およびコンピューターの電源を入れる

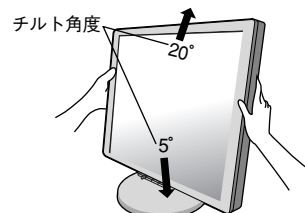
## 5 調節をおこなう

### 1 画面の調節をおこなう

まずは「自動調節をする」(→P16)の手順にしたがって自動調節をしてください。自動調節をおこなってもうまく表示されない場合は「OSD機能の各選択項目について」(→P19)をご覧ください。

### 2 角度を調節する

お好みに合わせて本機の角度を調節してください。  
右図のように見やすい角度に調節します。



液晶画面を押さないようにしてください。

### ⚠ 注意

角度調節時に、指をはさまないように気をつけてください。  
けがの原因となることがあります。

## ヘッドホンの接続

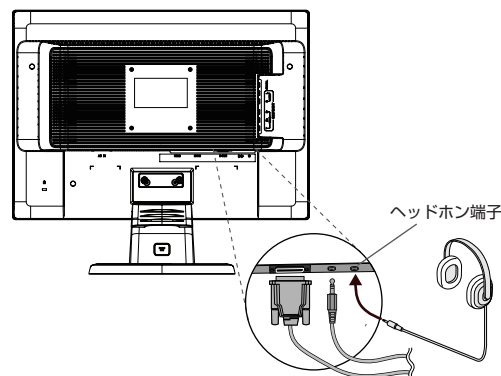
液晶ディスプレイ背面(→P9)のヘッドホン端子にヘッドホンを接続して使用できます。

### ⚠ 注意

ヘッドホンを耳にあてたまま接続しないでください。音量によっては耳を傷める原因となります。

### お知らせ

- 液晶ディスプレイに接続できるのは、ステレオミニプラグ付のヘッドホンです。お持ちのヘッドホンのプラグが大きくて入らないときは、オーディオショップなどで「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグをお買い求めください。
- ヘッドホンを接続するとスピーカーからの音が消えます。



設接  
定統

## 付属のユーティリティーディスクについて

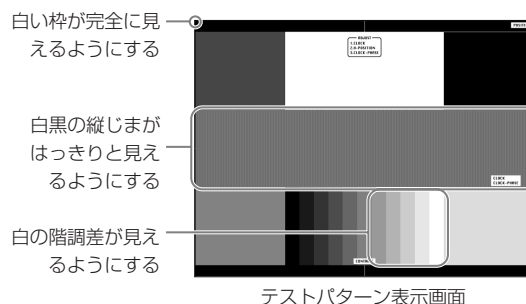
同梱のユーティリティーディスクは、以下のような場合にご使用ください。

※ 内容の詳細やインストール方法などについては、ユーティリティーディスクのREADME.TXTをご覧ください。

### 取扱説明書(本書)

#### Windows® セットアップ

付属のユーティリティーディスクには、ディスプレイのWindows®用セットアップ情報が入っています。このセットアップ情報をご使用のコンピューターにインストールすることで、最大解像度や垂直周波数等がディスプレイの能力に合わせて設定できるようになります。本機をはじめてコンピューターに接続したときには、付属のユーティリティーディスクからセットアップ情報をコンピューターへインストールしてください。インストール手順はユーティリティーディスクのREADME.TXTをご覧ください。



テストパターン表示画面

#### テストパターン

付属のユーティリティーディスクには、テストパターンが入っています。このテストパターンはアナログ接続をした場合の画面調節の際に使用します。

ご使用方法については、ユーティリティーディスクのREADME.TXTをご覧ください。

## 自動調節をする (PC アナログ接続の場合)

本機をコンピュータとアナログ接続したときは、最初に自動調節をおこないます。その後、さらに調節をおこなう必要がある場合は各調節項目を個別に調節してください。(→P19)

### お知らせ

- 自動調節は適切な画面を表示するよう、画面の表示位置、水平サイズや位相を自動で調節します。
- OSD 画面を表示する方法など、操作のしかたの詳細については、「OSD 画面の基本操作」(→P18) をご覧ください。

### 1 本機およびコンピュータの電源を入れる

### 2 画面全体に付属のユーティリティーディスクのテストパターン (→P15) またはワープロソフトの編集画面などの白い画像を表示する。

### 3 液晶ディスプレイ前面の「AUTO」ボタンを押します。

左右の表示位置、上下の表示位置、水平サイズ、位相の自動調節が実行されます。自動調節中は「実行中」の文字が表示されます。

「実行中・・・」の表示が消えたら、調節完了です。

これですべての自動調節が完了しました。

## ビデオや DVD を見る

### お知らせ

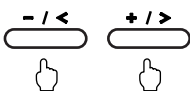
- 映像機器を接続 (→P12) してからご使用ください。
- 映像機器の接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

### 1 前面の電源スイッチを押し、電源を入れる

### 2 本体のSOURCEボタンを押し、入力を「コンポーネント」または「HDMI」に切り替える



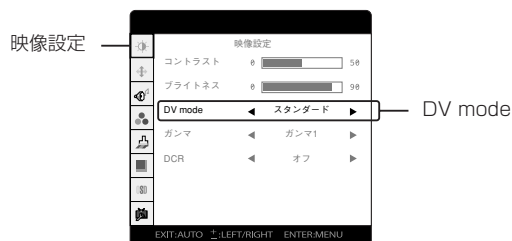
### 3 本体の- / < ボタン、または、+ / > ボタンで音量を調節する



### 4 OSD 機能の「ツール」の「Aspect」で画面サイズを切り替える



### 5 OSD 機能の「映像設定」の「DV mode」を切り替える

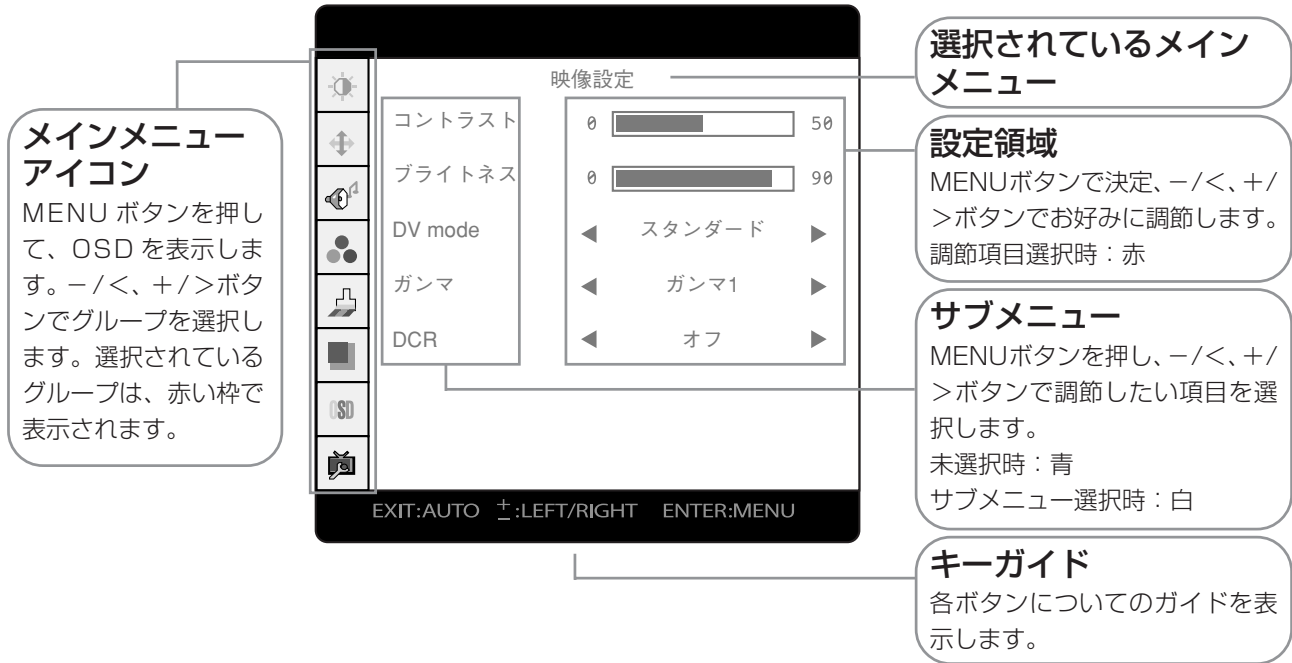


# 画面調節 (OSD 機能)

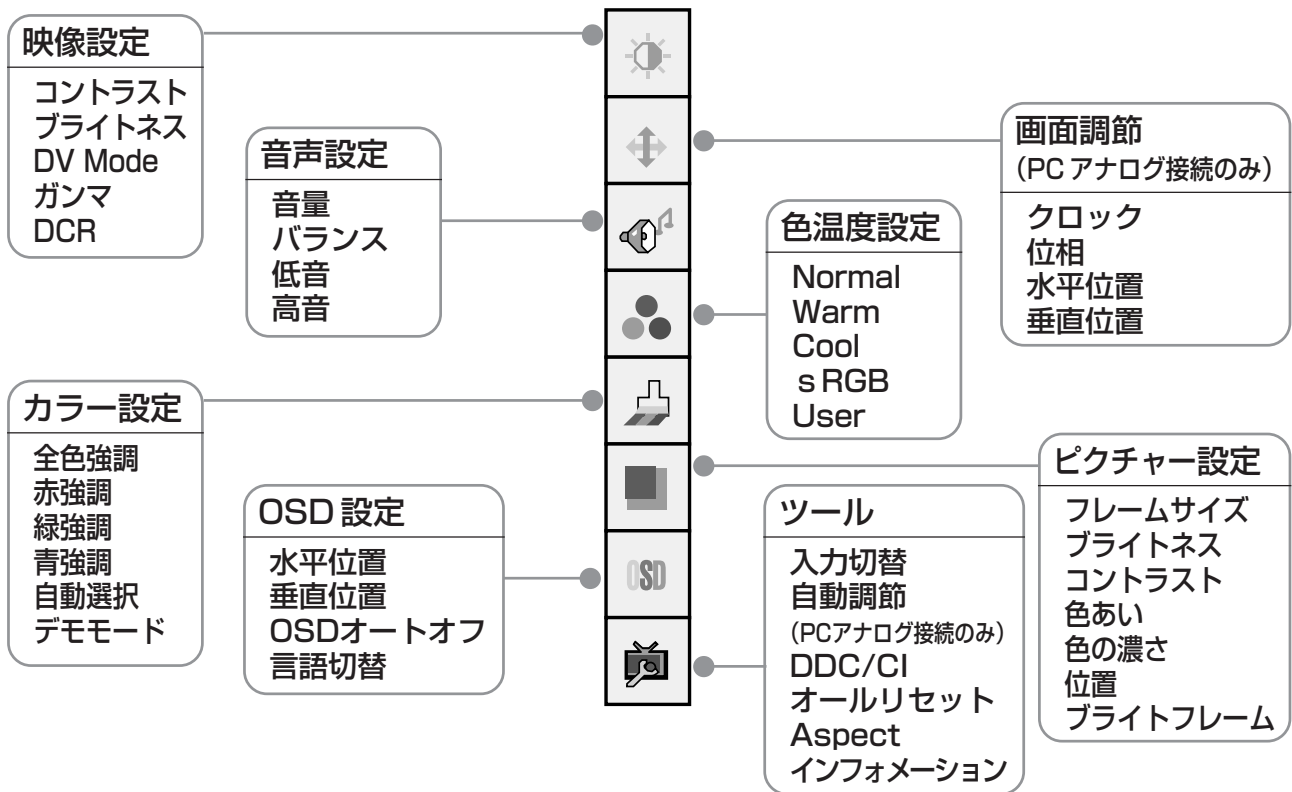
本機には画面の調節が簡単にできる OSD (On Screen Display) 機能がついています。OSD 機能により画面上に表示されるメニューを操作し、明るさなどの画面調節等をおこないます。

**OSD 画面の構成** OSD 画面は、以下に示すような構成になっています。

例：PC 入力選択時



## メインメニューアイコンの構成



### お知らせ

本機は一般的なコンピューター (→P2) と、「デジタル接続」した場合は、自動的に適切な画面を表示します。「アナログ接続」でも自動調節すれば自動的に適切な画面を表示します。(→P16) ただし、コンピューターによっては画面にちらつきや、にじみが生じることがあります。また、入力信号によってはうまく表示できないこともあります。その場合は OSD 機能を使用して画面の調節 (→P18) をおこなってください。この場合、調節後の画面情報が記憶されます。

## OSD 画面の基本操作

ここでは、OSD 画面の基本操作のしかたを説明します。

### 1 本機の電源を入れる。

### 2 本体前面の MENU ボタンを押して、OSD を表示する。

現在選択中のメインメニューアイコンが赤枠で表示されます。

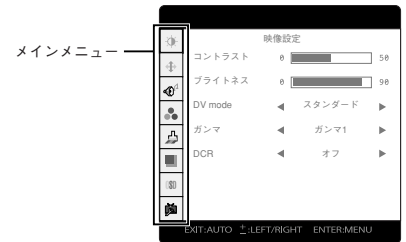
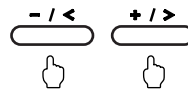


#### お知らせ

- 本体の AUTO ボタンを押すと、OSD 画面が消えます。
- OSD 画面の表示位置は変えることができます。選択項目の「OSD 設定」(→P21) をご覧ください。

### 3 本体前面の - / < ボタン、+ / > ボタンを押して調節したいメインメニューを選択します。

MENU ボタンを押して、サブメニュー選択画面に入ります。  
未選択中は青で表示され、サブメニュー選択中は白で表示されます。

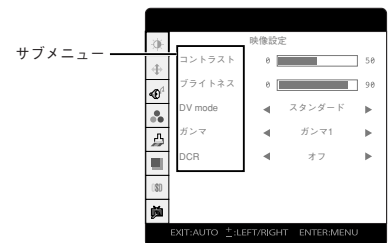
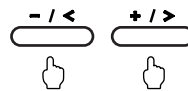


#### お知らせ

- 途中で作業をやめる場合は本体の AUTO ボタンを押すと、メインメニュー選択画面に戻ります。

### 4 本体前面の - / < ボタン、+ / > ボタンを押して調節したい項目を選択します。

MENU ボタンを押して、調節項目を決定します。



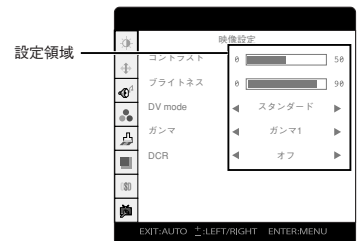
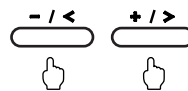
#### お知らせ

- 途中で作業をやめる場合は本体の AUTO ボタンを押すと、サブメニュー選択画面に戻ります。

### 5 本体全面の - / < ボタン、+ / > ボタンを押してお好みに調節します。

#### お知らせ

- ここで設定した項目は、「ツール」の「オールリセット」で出荷時の状態に戻すことができます。リセットできる項目については「オールリセット」(→P22) をご覧ください。



### 6 本体の AUTO ボタンを 3 回押して OSD 画面を消す。

1 回押すとサブメニュー選択画面に、2 回押すとメインメニュー選択画面に、3 回目で OSD 画面が消えます。

#### お知らせ

- 上記のボタンのいずれも押さず OSD オートオフで設定された時間が経過すると OSD 画面は自動的に消えます。
- OSD 画面の下に各ボタンのガイドが表示されますので、参照してください。



## OSD 機能の各選択項目について

ここでは、各選択項目の詳細内容を説明します。



### 映像設定

#### ■ コントラスト

調節バーが表示されます。本体の- / <、+ / > ボタンを押して好みのコントラストに調節してください。

#### ■ ブライツネス

調節バーが表示されます。本体の- / <、+ / > ボタンを押して好みの明るさに調節してください。

#### ■ DV Mode (Dynamic Visual Mode)

DV Mode をお好みに応じて切り替えます。

スタンダード： 標準の設定です。

テキスト： 画面の明るさを抑えた、通常のワープロや表計算ソフト等に適した設定です。

インターネット： 画面の明るさを抑え気味にした、長時間のネットサーフィンに適した設定です。

ゲーム： 全体の明るさを引き上げ、より迫力ある画像を提供するゲームに適した設定です。

ムービー： 暗いシーンの諧調表現力を引き上げ、奥行き感を表現する映画に適した設定です。

スポーツ： 明るさを最大限に引き上げ、ダイナミックで迫力ある映像に適した設定です。

#### ■ ガンマ

グレイスケールの明るさのレベルを選択します。

ガンマ 1：ガンマ調節値を 2.2 に設定します。

ガンマ 2：ガンマ調節値を 2.0 に設定します。

ガンマ 3：ガンマ調節値を 2.4 に設定します。

#### ■ DCR (Dynamic contrast ratio)

DCR をオン / オフします。

#### お知らせ

- 本機能は動画に適した機能です。コンピューター画面等の静止画では、入力信号の状態によってはバックライトの輝度に変化し、まれに画面がちらつく可能性があります。  
静止画を表示する際は、本機能をオフにすることをお勧めします。
- DCR が選択されると、コントラスト、ブライツネス、DV Mode、ガンマの各項目は調節できません。
- DCR が選択されると、カラー設定およびピクチャー設定の ON の項目は OFF に切り替わります。色温度設定の R,G,B の値は調節できません。



### 画面調節 (PC アナログ接続のみ)

#### ■ クロック

画面に縦縞が現れるときや左右の画面サイズがあっていないときに調節します。

調節バーが表示されます。- / <、+ / > ボタンを押してクロックを調節してください。

#### ■ 位相

画面に横方向のノイズが表示されたり、文字のにじみ、輪郭のぼやけが起こった場合は位相を調節します。

調節バーが表示されます。- / <、+ / > ボタンを押して位相を調節してください。

#### ■ 水平位置

左右方向の表示位置を調節します。

#### ■ 垂直位置

上下方向の表示位置を調節します。



## 音声設定

### ■ 音量

調節バーが表示されます。本体の- / <、+ / > ボタンを押してスピーカーの音量を調節します。

### ■ バランス

調節バーが表示されます。本体の- / <、+ / > ボタンを押して左右の音のバランスを調節します。- / < ボタンを押すと左の音声が大きくなり、+ / > ボタンを押すと右の音声が大きくなります。

### ■ 低音

調節バーが表示されます。本体の- / <、+ / > ボタンを押して低音域の音量を調節します。

### ■ 高音

調節バーが表示されます。本体の- / <、+ / > ボタンを押して高音域の音量を調節します。



## 色温度設定

### ■ Warm

初期設定値になります。(RGB の値は調節できません。)

### ■ Normal

標準的な白。(RGB の値は調節できません。)

### ■ Cool

画面が青っぽく表示されます。(RGB の値は調節できません。)

### ■ sRGB

色再現国際規格 sRGB に対応した色で表現します。(RGB の値は調節できません。)

### ■ User

次のそれぞれの色についての調節ができます。

R:赤色、G:緑色、B:青色、Y:イエロー色、C:シアン色、M:マゼンダ色

### お知らせ

● 色温度設定を行うと、DCR、カラー設定およびピクチャー設定の ON の項目は OFF に切り替わります。



## カラー設定

### ■ 全色強調

全色強調 R,G,B 各色全てを強調して表示します。

### ■ 肌色強調

映像信号処理により赤をより赤く強調して表示します。

### ■ 緑色強調

映像信号処理により緑をより緑に強調して表示します。

### ■ 青色強調

映像信号処理により青をより青に強調して表示します。

### ■ 自動選択

入力映像信号によって自動的に強調する色が決定されます。

### ■ デモモード

画面右側半面のオリジナル映像と比較することで左半面の各カラー設定の効果を確認できます。

### お知らせ

● カラー設定の項目を ON にすると色温度設定が無効になり、DCR、ピクチャー設定の ON の項目が OFF に切り替わります。



## ピクチャー設定

### ■ フレームサイズ

－ / <、 + / > ボタンを押してブライトフレームの大きさを変更します。  
(ブライトフレーム選択時のみ調節可能)

### ■ ブライトネス

調節バーが表示されます。本体の－ / <、 + / > ボタンを押してブライトフレームの明るさを調節します。  
(ブライトフレーム選択時のみ調節可能)

### ■ コントラスト

調節バーが表示されます。本体の－ / <、 + / > ボタンを押してブライトフレームのコントラストを調節します。  
(ブライトフレーム選択時のみ調節可能)

### ■ 色あい

調節バーが表示されます。本体の－ / <、 + / > ボタンを押してブライトフレームの色あいを調節します。  
(ブライトフレーム選択時のみ調節可能)

### ■ 色の濃さ

調節バーが表示されます。本体の－ / <、 + / > ボタンを押してブライトフレームの色の濃さを調節します。  
(ブライトフレーム選択時のみ調節可能)

### ■ 位置

水平位置と垂直位置の調節バーが表示されます。－ / <、 + / > ボタンを押して好みの位置に移動します。  
(ブライトフレーム選択時のみ調節可能)

### ■ ブライトフレーム

ブライトフレームをオン / オフします。  
画面の一部をお好みの設定で表示します。

### お知らせ

ブライトフレームを ON にすると、色温度設定が無効になり、DCR、カラー設定の ON の項目が OFF に切り替わります。



## OSD 設定

### ■ 水平位置

OSD 画面の左右方向の表示位置を調節します。

### ■ 垂直位置

OSD 画面の上下方向の表示位置を調節します。

### ■ OSD オートオフ

OSD 画面を表示させたあと、設定された時間になると OSD 画面が自動的に消えるようにする機能です。  
－ / <、 + / > ボタンを押して 5 秒から 120 秒まで、5 秒ごとの設定が可能です。

### ■ 言語切替

現在選択中の OSD 画面の表示言語がです。－ / <、 + / > ボタンを押して、表示言語を切り替えてください。



## ツール

### ■ 入力切替

入力信号を切り替えます。

入力信号	映像	音声
Digital	PC 入力	PC 音声入力
Analog	PC 入力	PC 音声入力
コンポーネント	コンポーネント映像入力	コンポーネント音声入力
HDMI	HDMI 入力	HDMI 入力

### ■ 自動調節 (PC アナログ接続のみ)

左右、上下方向の表示位置、水平サイズや位相を自動調節します。自動調節の詳細手順については「自動調節をする」(→P16)をご覧ください。

### ■ DDC/CI

DDC/CI 機能をオン/オフします。

### ■ オールリセット

OSD 操作をすることによって変更した項目を工場出荷時の状態に戻すことができます。出荷時の状態に戻すことができる項目は、左右の表示位置、上下の表示位置、水平サイズ、位相、色温度設定です。

### ■ Aspect

自動的に画面を拡大する機能です。1680 ドット×1050 ラインより低い場合に機能します。

Full: 画面表示を 1680 ドット×1050 ラインに拡大します。

Expansion: 縦横寸法比率を変えずに画面を拡大します。

OFF: 入力解像度のままで表示します。(画面を拡大しません。)

### ■ インフォメーション

入力している信号の情報、と Serial number (製造番号) を表示します。

### お知らせ

- Aspect の工場出荷設定は Full です。

信号によってはオリジナルに対して、横長画像あるいは縦長画像となる場合があります。オリジナルの縦横寸法比率に修正したい場合は Expansion を選択してください。

## その他の OSD 機能

### ■ OSD ロック

- OSD メニューの操作をロックする  
電源オフの状態、MENU キーを押しながら電源オンすると OSD メニューの操作がロックされます。
- ロックを解除する  
電源オンの状態で、MENU キーを押しながら電源オンすると OSD ロックが解除されます。



OSD ロック設定中の OSD 画面

### ■ HOT KEY

OSD 画面が表示されていないとき各ボタンを押すことで直接調節できます。

「SOURCE」 ボタンを押すと入力信号を切り替えます。

「AUTO」 ボタンを押すと自動調節を実行します。

「-/<」 ボタンを押すと音量調節画面を表示します。

「+ / >」 ボタンを押すと音量調節画面を表示します。

「MENU」 ボタンを押すと OSD 画面を表示します。

## OSD 機能による画面の調節が必要となる場合

本機は下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピューターに接続すると、自動的に適切な画面を表示します。ただし、コンピューターによっては画面にちらつきやにじみが生じることがあります。また、入力信号によってはうまく表示できないこともあります。その場合は画面調節 (→P19) をおこなってください。この場合、調節後の画面情報が記憶されます。

### <工場プリセットタイミング>

解像度	周波数		備考
	水平	垂直	
640 × 480	31.5kHz	60Hz	
640 × 480	37.9kHz	73Hz	
640 × 480	37.5kHz	75Hz	
720 × 400	31.5kHz	70Hz	
800 × 600	35.2kHz	56Hz	
800 × 600	37.9kHz	60Hz	
800 × 600	48.1kHz	72Hz	
800 × 600	46.9kHz	75Hz	
1024 × 768	48.4kHz	60Hz	
1024 × 768	56.5kHz	70Hz	
1024 × 768	60.0kHz	75Hz	
1280 × 960	60.0kHz	60Hz	
1280 × 1024	64.0kHz	60Hz	
1280 × 1024	80.0kHz	75Hz	
1440 × 900	55.9kHz	60Hz	
1680 × 1050	65.3kHz	60Hz	推奨信号タイミング

\* 推奨信号タイミング (アナログ入力時)

- 入力信号の識別は、水平周波数・垂直周波数・同期信号極性・同期信号タイプによりおこなっています。
- 本機は 5 種類のタイミングを記憶できる機能があります (ユーザーメモリー機能)。記憶させたい信号を入力し、OSD 機能で好みの画面に調節 (→P17) するとタイミングおよび画面情報が自動的に記憶されます。
- 「オールリセット」を実行すると全てのユーザーメモリーに記憶された値が消去されます。
- 本機の周波数は水平周波数: 30 ~ 83kHz 垂直周波数 60 ~ 75Hz 対応となっておりますが、この範囲内であっても入力信号によっては正しく表示できない場合があります。この場合は、コンピューターの周波数、または解像度を変更してください。
- インターレース信号には対応していません。
- 複合同期信号、シンクオングリーン信号には対応していません。

### お知らせ

- 解像度 1680 × 1050 以外の信号を入力した場合は、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。

## その他の機能について

ここでは、本機の OSD 機能以外の機能について説明しています。

### 簡易表示機能（PC 入力選択時のみ）

本機が対応する解像度よりも高い解像度の信号が入力された場合に、自動的に画面を縮小表示する機能です。

OSD 画面の注意画面を表示するとともに「簡易表示機能」により画面を縮小表示しますので、他の高解像度ディスプレイを接続することなく、本機が対応する解像度にコンピューターの設定を変更することができます。



OSD 画面の注意画面

#### お知らせ

- 入力信号によっては、本機能が正常に動作しない場合があります。
- 75Hz より高い垂直同期信号では動作しません。

### Plug&Play 機能

VESA の DDC (Display Data Channel) 2B 規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に最適な画面が自動的に設定されます。

詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

### ノータッチオートアジャスト機能（NTAA: No Touch Auto Adjust）（PC 入力選択時のみ）

ユーザーメモリーに記憶されていない種類の信号が入力されると自動調節が実行されます。入力された信号を本機のマイコンが検出し、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。

### 自動入力選択機能（2 系統入力時）（PC 入力選択時のみ）

ビデオ信号の入力の有無によって自動的にビデオ信号の入力がある方を表示する機能です。

2 台のコンピューターを本機につなぎ、同時に使用している場合、SOURCE ボタンを押さなくても、現在表示中のコンピューターの電源が切れると自動的にもう一方のコンピューターの画面に切り替わります。

### パワーマネジメント機能（PC 入力選択時のみ）

コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

#### お知らせ

- この機能は VESA DPM 対応パワーマネジメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合にのみ機能します。

パワーマネジメント機能が作動している場合の消費電力と電源ランプの点灯状態は以下の通りです。

モード	消費電力	電源ランプ
通常動作時	48W	青色点灯
パワーセーブモード時	2W 以下	橙色点灯
電源スイッチ OFF 時	1W 以下	点灯なし

水平または垂直同期信号が OFF 状態になっているにもかかわらず、ビデオ信号（R, G, B）が出力されているようなコンピューターについては、パワーマネジメント機能が正常に作動しない場合があります。

#### お知らせ

- キーボードの適当なキーを押すかマウスを動かすと、画面が復帰します。  
画面が復帰しない場合またはパワーマネジメント機能のないコンピューターと接続して使用の場合、信号ケーブルが外れているかコンピューターの電源が「切」になっていることが考えられますので、ご確認ください。



## 故障かな？と思ったら…

このようなときは、チェックしてください。

表示されないときは…



症状	状態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが点滅している場合	本機の故障である可能性があります。販売店または「修理受付／アフターサービス窓口」にご相談ください。	P27
	電源ランプが点灯しない場合	電源スイッチが入っていない可能性がありますので、確認してください。	P8
		電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P14
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	
		電源コードをコンピューターの本体のコンセントに接続している場合は、コンピューターの電源を入れていない可能性があります。コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
	電源ランプが青色に点灯している場合	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P17
		● OSD画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理受付／アフターサービス窓口」にご相談ください。	P27
		● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。映像設定の「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してください。	P17, 19
		● OSD画面が正常に表示され、「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してもコンピューターの画面が表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P10, 21, P22
	電源ランプが橙色に点灯している場合	パワーマネジメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。	P23
信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクタに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。		P11	
変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。		P11	
コンピューターの電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。			
画面が表示しなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合*	新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または「修理受付／アフターサービス窓口」にご相談ください。	P27

\* 液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には寿命があります。

## 表示がおかしいときは…

症状	原因と対処	参照
画面上に黒点(点灯しない点)や輝点(点灯したままの点)がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
細かい模様を表示するとちらつきやモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
線の太さなどがぼやける	1680×1050以外の解像度の画像を表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P22
表示エリア外の非表示部分に「残像」が生じる	表示エリアが画面いっぱいでない場合、長時間表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P7, 30
画面を見る角度によって色がおかしい	視野角(画面を見る角度)によっては、色相の変化が大きくなります。	P30,31
画面の表示状態が変わっていく	液晶パネルは蛍光灯を使用しているため、使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような「残像」という現象が起こることがあります。電源を切るか変化する画面を表示していれば像は1日程度で消えます。	P7, 30
表示色がおかしい	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P17
	● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理受付／アフターサービス窓口」にご相談ください。	P27
	● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。「カラー設定」を選択しお好みで色の割合を調節していただくか、またはRESETボタンで工場設定に戻してください。	P21
	● OSD画面が正常に表示され、「色温度設定」もしくは「ピクチャー設定」の「色あい」と「色の濃さ」を調節しても画面が正常に表示されない場合は、接続されている機器が正しい動作状態にあることを確認してください。PC入力選択時はコンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P11, P20 ~P22
画面がちらつく(分配器を使用している場合)	分配器を中継せず、コンピューターと直に接続してください。	P11
画面がちらつく(上記以外の場合)	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P17
	● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理受付／アフターサービス窓口」にご相談ください。	P27
	● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。「画面調節」の「位相」を選択し調節してください。	P19
	● OSD画面が正常に表示され、「位相」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P11, 19 P22

## 案内画面／注意画面が表示されたら…

症状	原因	対処	参照
画面に「NO SIGNAL」が表示された！※1 	信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本機およびコンピューターのコネクターに正しく接続してください。	P11
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	
	電源ランプが橙色に点灯している場合は、コンピューターの電源が切れている可能性があります。	コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
	コンピューターのパワーマネジメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	P23
画面に「サポート外信号」が表示された！※2 	本機に適切な信号が入力されていない可能性があります。	本機に適切な信号が入力されているか確認してください。入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P22
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P22

※1 コンピューターによっては、解像度や入力周波数を変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。

※2 コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

## その他 (PC 入力選択時のみ)

症状	原因	対処
解像度や色数の変更ができない／固定されてしまう	うまく信号が入出力できないことがまれにあります。	本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。
	Windows®をご使用の場合は、Windows® セットアップのインストールが必要な可能性があります。	付属のユーティリティディスクの Windows® セットアップをコンピューターにインストールしてください。(→P15)
	Windows® セットアップをインストールしても設定の変更が不可能な場合、または Windows® 以外の OS をご使用の場合は、グラフィックボードのドライバーが OS に正しく認識されていない可能性があります。	グラフィックボードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターのマニュアルをご参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。

## その他 (PC・ビデオ入力選択時)

症状	原因	対処
スピーカーから音が出ない！	オーディオケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。	オーディオケーブルを本機およびコンピューターのコネクターに正しく接続してください。
	ヘッドホンがつながっている場合、スピーカーから音は出ません。	ヘッドホンを外してください。
	音量が最小になっている可能性があります。	OSDメニューの「音声設定」の「音量」で音量を調節してください。(→P20)
	「音声設定」の「バランス」が片側によっている可能性があります。	OSDメニューの「音声設定」の「バランス」が片側によっている場合はバランス設定をセンターに戻してください。(→P20)

## ビデオを見るときの

症状	原因	対処
映像も音も出ない	ビデオが正しく接続されていない。または、正しく操作されていない可能性があります。	ビデオの取扱説明書をご参照のうえ、対処してください。
色がつかない 色がおかしい	「ピクチャー設定」の「ブライトフレーム」がオンになっている場合、「色あい」「色の濃さ」が片側によっている可能性があります。	「ピクチャー設定」の「色あい」「色の濃さ」をセンターに戻してください。(→P21)

## 本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）

当社は環境保護に強く関わっていきます。環境に対する影響を最小限にするために、リサイクルシステムを会社の最重要課題の一つとして考えております。また、環境に優しい商品の開発と常に最新のISOやTCOの標準に従って行動するよう努力しています。当社の使用済みディスプレイのリサイクルシステムの詳細については当社インターネットホームページをご覧ください。

<http://www.nec-display.com>

なお、資源有効利用促進法に基づく当社の使用済みディスプレイのリサイクルのお申し込みは下記へお願いします。

家庭系(個人ユーザー様)の窓口	事業系(法人ユーザー様)の窓口
情報機器リサイクルセンター	日本電気株式会社/NECロジスティクス株式会社
TEL 03-3455-6107 URL <a href="http://www.pc-eco.jp">http://www.pc-eco.jp</a>	URL <a href="http://www.nec.co.jp/eco/ja/products/3r/shigen_menu.html">http://www.nec.co.jp/eco/ja/products/3r/shigen_menu.html</a>
<b>受付時間 土・日・祭日を除く 9:00~17:00</b> 休日、土曜・日曜・祭日及び年末年始等の両社の所定休日とさせていただきますので、ご容赦願います。	

## ディスプレイの回収・リサイクル

資源有効利用促進法に基づき、家庭から出される使用済みディスプレイの回収・リサイクルをおこなう“PCリサイクル”が2003年10月より開始されました。当社ではこれを受け、回収・リサイクル体制を構築し、2003年10月1日より受付しております。2003年10月以降購入されたディスプレイのうち、銘板に“PCリサイクル”が表示されている商品\*は、ご家庭からの排出時、当社所定の手続きにより新たな料金負担なしで回収・リサイクルいたします。事業者から排出される場合は、産業廃棄物の扱いとなります。

\*“PCリサイクル”の表示のない商品は、排出時、お客様に回収・リサイクル料金をご負担頂きますので、あらかじめご了承ください。

## 保証とアフターサービス

- この商品には保証書を添付しています。  
保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。  
内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店または「修理受付/アフターサービス窓口」にご相談ください。  
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- その他、アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店か、「修理受付/アフターサービス窓口」へご相談ください。

## 修理受付/アフターサービス窓口

個人ユーザー様の窓口	法人ユーザー様の窓口
121コンタクトセンター	NECビジネスPC修理受付センター
<b>フリーコール：0120-977-121</b> 携帯電話、PHSなどフリーコールをご利用できないお客様は こちらの番号へおかけください。 03-6670-6000(通話料お客様負担)	<b>フリーコール：0120-00-8283</b> 携帯電話をご利用のお客様は こちらの番号へおかけください。 0570-064-211(通話料お客様負担)
<b>受付時間：24時間365日受付</b>	<b>受付時間：月～金 9:00～18:00</b> 土曜、日曜、国民の祝日、法律に定める休日、 NEC規定の休日(12月29日～1月3日、4月30日～5月2日)を除く

アフターサービスを依頼される場合はつぎの内容をご連絡ください。

- お名前
- ご住所（付近の目標など）
- 電話番号
- 品名：液晶ディスプレイ
- 型名：LCD22WMGX (BK)
- 製造番号（本機背面のラベルに記載）
- 故障の症状、状況など（できるだけ詳しく）
- 購入年月日または使用年数

## 再梱包するとき

再梱包の際は次の手順でケーブルホルダー、ベーススタンドを取り外してください。図1の矢印方向にケーブルホルダーを押し、ツメを片方ずつ手前に引いて外してください。水平な机の上に柔らかい布を敷き、その上に本体表示部を下になるように置いてください。図2のように片手でベーススタンドを持ち、もう一方の手でリリースボタンを押し、矢印の方向に引いてください。

### ⚠ 注意

表示部を下向きに置く際に表示部の下に物を置かないでください。また、突起など無い事を確認し表示部を傷つけないように注意してください。リリースボタンを押す際に指をはさまないように注意してください。

図1

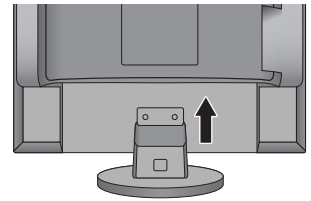
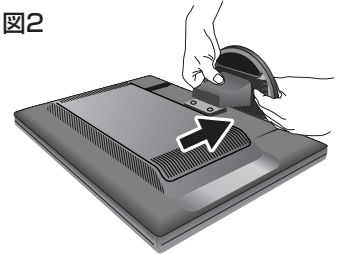


図2



## 市販のアームを取りつけるとき

本機には VESA 規格に準拠した (100 mmピッチ) 市販のアームを取りつけることができます。

### お願い

- アームは本機を支えるのに十分なものを選んでください。  
(本機のディスプレイ部の質量は約 5.0kg です。)

アームを取りつける際は、下記要領で取りつけてください。

### スタンドの取り外し方

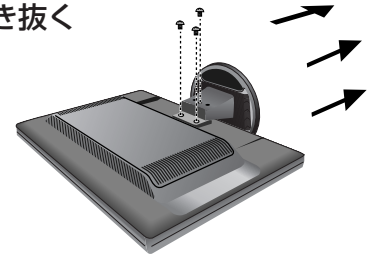
- 1 本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってから、信号ケーブル、電源ケーブルを取り外す  
スタンドと床が平行になるように、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを下向きにして置きます。



- 2 スタンドを取りつけている 3 本のネジを取り外し、スタンドを引き抜く

### お願い

- スタンドを取りつける場合は、逆の手順でおこないます。その際は必ずスタンド取り付けに使用していたネジを使ってください。それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障する原因になる恐れがあります。
- ネジを締めつける際はつけ忘れに注意し、すべてのネジをしっかりと締めつけてください。なお、スタンドの取り付けはお客様の責任においておこなうものとし、万一事故が発生した場合、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。



### アームの取り付け方

- 1 市販のアームを取りつける

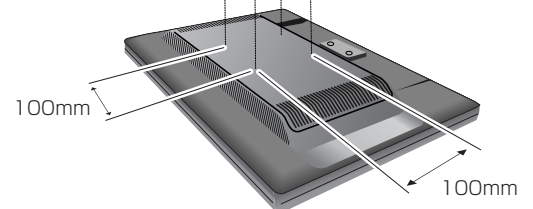
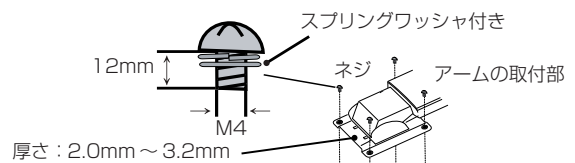
取付可能アーム：

取付部厚み 2.0mm ~ 3.2mm VESA 規格準拠

ネジゆるみ防止のためすべてのネジをしっかりと締めつけてください。(ただし、締めつけすぎるとネジがこわれることがあります。98 ~ 137N・cm が適切な締め付トルクです。)

### お願い

- 液晶ディスプレイを倒したまま固定できないときは、2人以上で取り付け作業をおこなってください。落下してけがの原因となります。
- 取り付け作業をおこなう前に、アームの取扱説明書を必ず読んでください。
- アームの取り付けはお客様の責任においておこなってください。万一事故が発生した場合でも、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。
- アームを取りつける際は、必ず右記の仕様のネジを使ってください。それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障する原因になる恐れがあります。



※ 上記アームの取付部形状は参考例です。



## 用語解説

ここでは、本書で使用している専門的な用語の簡単な解説をまとめてあります。また、その用語が主に使用されているページを掲載しておりますので、用語から操作に関する説明をお探しいただけます。

### 2系統入力 P2, 10

2台のコンピューターを接続するための入力端子を2つ装備していることを表します。

### DCR P19

映像信号にデジタル処理を行うことにより、ダイナミックなコントラストを実現します。

### DDC 2B 規格 (Display DATA Channel)

VESAが提唱する、ディスプレイとコンピューターとの双方向通信によってコンピューターからディスプレイの各種調節機能を制御する規格です。

### DDC/CI 規格 (Display Data Channel Command Interface)

ディスプレイとコンピューターの間で、設定情報などを双方向でやり取りできる国際規格です。

### DPM (Display Power Management) P23

VESAが提唱する、ディスプレイの省エネルギー化に関する規格です。DPMでは、ディスプレイの消費電力状態をコンピューターからの信号により制御します。

### DV Mode (Dynamic Visual Mode) P19

表示する内容に合わせて6種類の最適画像を選べる機能です。「スタンダード」、「テキスト」、「インターネット」、「ゲーム」、「ムービー」、「スポーツ」の中からお選びいただけます。

### DVI-A 端子 (Digital Visual Interface-Analogue) P11

アナログ入力のみに対応しているDVI端子です。

### DVI-D 端子 (Digital Visual Interface-Digital) P2, 9 ~ 11

デジタル入力のみに対応しているDVI端子です。

### DVI-I 端子 (Digital Visual Interface-Integrated) P2, 10, 11

デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子です。どちらかの入力を接続するケーブルあるいは変換アダプターによって使い分けが可能となります。

### HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection)

DVIを経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピーや不正取り出しなどの防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。本機のDVI-D入力端子は、HDCP技術を用いてコピープロテクトされているパーソナルコンピュータからのデジタルコンテンツを表示することができます。

### HDMI (High-Definition Multimedia Interface) P13, 31

デジタル映像・音声入出力の規格です。1本のケーブルで映像・音声・制御信号の送受信が可能です。デジタル信号をアナログ変換する必要がないため、高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。

### Plug&Play P23

Windows®で提唱されている規格です。ディスプレイをはじめとした各周辺機器をコンピューターに接続するだけで設定をせずにそのまま使えるようにした規格のことです。

### sRGB 規格 P20

IEC (International Electrotechnical Commission) により規定された色再現国際規格です。sRGB対応のディスプレイなら、ネットワーク上でどのディスプレイでも色調を揃えることができる規格で、対応プリンター、スキャナー、デジタルカメラなどとの色合わせもしやすくなります。

### S/PDIF (Sony Philips Digital Interface) P9

音声信号をデジタル転送するための規格です。

本機には同軸デジタル音声端子(コアキシャル)が搭載されており、RCAケーブル(市販)を用いることにより、同入力端子を持つデジタルAVアンプ等に接続し、高音質が楽しめます。

## VESA 規格 (Video Electronics Standards Association) P23, 28, 31

ビデオとマルチメディアに関連する標準の確立を目的として提唱された規格です。

### 位相 P19

アナログ信号をきれいに表示する為の調節機能の1つです。これを調節することにより、文字のにじみや横方向のノイズをなくしたりすることができます。

### 国際エネルギースタープログラム P4

デスクトップコンピュータの消費電力を節減するために、米国の環境保護局 (EPA : Environmental Protection Agency) が推し進めているプログラムのことです。

### 応答速度 P31

表示している画面を変化させたときの画面の切り替わりの速さ (追従性) のことで、数値が小さいほど応答速度は速くなります。

### 輝度 P31

単位面積あたりを表示する明るさを示す度合いのことで、数値が高いほど表示画面が明るくなります。

### コントラスト比 P31

白と黒の明るさの比率を示す比率のことで、輝度が同じであれば、数値が大きくなるほど画面にメリハリが出ます。

### コンポーネント映像 P12

映像信号を輝度信号 (Y) と、色系統信号 (赤系 (Pb) / 青系 (Pr)) に分けて送り、受け側の表示機器で画面に映すときに合成して映像にします。輝度信号と色系統信号が分けて送られるため、従来のアナログテレビ放送などで発生しやすい、不要な色付きや色のにじみなど画質の悪化を抑えることができます。

### 残像 P7, 25

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象です。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

### 視野角 P25, 31

斜めから見た場合など、正常な画像が見られる角度のことで、数値が大きいほど広い範囲から画像が見られます。

### 水平周波数/垂直周波数 (Horizontal Frequency/Virtical Frequency) P22, 31

水平周波数: 1秒間に表示される水平線の数のことで、水平周波数31.5kHzの場合、1秒間に水平線を31,500回表示するという事です。

垂直周波数: 1秒間に画面を何回書き換えているかを表します。垂直周波数が60Hzの場合、1秒間に画面を60回書き換えているということです。

### チルト角度 P15, 31

ディスプレイ画面を前後に動かせる角度の事です。

### ノータッチオートアジャスト/NTAA (No Touch Auto Adjust) P23

コンピューターから新しい信号を受信するたびに自動的に画面を最適な状態にする機能です。

### パワーマネジメント機能 P23

コンピューターの消費電力を低減するために組み込まれた機能です。コンピューターが一定時間使用されていない (一定時間以上キー入力がないなど) 場合に、電力消費を低下させます。再度コンピューターが操作されたときには、通常の状態に戻ります。

### 表示画素数/解像度 P22, 31

一般的には「解像度」と呼ばれています。1画面あたりの横方向と縦方向の画素の数を表します。表示画素数が大きいほど多くの情報量を表示することができます。

## 仕様

型名	LCD22WMGX (BK)		
サイズ (表示サイズ)	22型 (55.8cm)		
有効表示領域	473.76 × 296.1mm		
表示画素数	1680 × 1050		
画素ピッチ	0.282mm		
表示色	約1677万色		
視野角 (標準値)	左右170°、上下160°		
輝度 (標準値)	300cd/m <sup>2</sup>		
コントラスト比 (標準値)	1000 : 1、2000 : 1 (DCR オン時)		
応答速度	5ms		
PC入力	水平周波数	30 ~ 83kHz	
	垂直周波数	60 ~ 75Hz	
	ビデオ信号	アナログRGB、デジタルRGB	
	同期信号	セパレート同期信号 (TTL)	
	信号入力コネクタ	ミニD-SUB15ピン、DVI-D (HDCP対応)	
ビデオ入力	入力コネクタ	RCAピンジャック×3 (コンポーネント入力)、HDMI	
	ビデオ信号	525i(480i)、525p(480p)、625i(576i)、625p(576p)、750p(720p)、1125i(1080i)*、1125p(1080p)*	
音声入出力	入力コネクタ	3.5φステレオミニジャック(PC入力)、RCAピンジャックL/R(コンポーネント)、HDMI	
	スピーカー	2W+2W (ステレオ)	
	ヘッドホン	3.5φステレオミニジャック	
	デジタル音声出力	RCAピンジャック (HDMI入力時)	
適合規格等	パワーセーブ	国際エネルギースタープログラム	
	安全	UL60950-1、c-UL、電気用品安全法	
	不要輻射	VCCI-B、低周波電磁界ガイドライン、FCC、CE、DOC、MPR III	
	プラグ&プレイ	VESA DDC2B	
	その他	PCグリーンラベル(2007年度版)、グリーン購入法、DDC/CI、J-MOSS、エコシンボル、WEEE、静電気ガイドライン、PCRリサイクル	
使用環境条件	温度	5 ~ 35°C	
	湿度	20 ~ 80% (結露のないこと)	
保管環境条件	温度	- 10 ~ 60°C	
	湿度	10 ~ 85% (結露のないこと)	
電源	電源入力	AC100-240V 50/60Hz	
	消費電力	標準	48W
		パワーセーブ時	2W以下
	電源入力コネクタ	3P IECタイプ	
質量	約5.5kg (スタンドなし約5.0kg)		
梱包状態 (質量/寸法)	8.0kg / 608 (W) × 522 (H) × 190 (D) mm		
チルト角度	上20°、下5°		
外形寸法	<p style="text-align: right;">寸法 : mm</p>		

\*1125p(1080p)および1125i(1080i)は簡易圧縮表示

【ミニ解説】視野角:白と黒のコントラスト比が10以上に表示できる角度を示します。

## FCC Information

1. Use the attached specified cables with this equipment so as not to interfere with radio and television reception.
  - (1) The power supply cord you use must have been approved by and comply with the safety standards of U.S.A.,
  - (2) Please use the supplied shielded video signal cable and audio cable. Use of other cables and adapters may cause interference with radio and television reception.
2. This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy, and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
  - Reorient or relocate the receiving antenna.
  - Increase the separation between the equipment and receiver.
  - Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
  - Consult your dealer or an experienced radio/TV technician for help.

If necessary, the user should contact the dealer or an experienced radio/television technician for additional suggestions. The user may find the following booklet, prepared by the Federal Communications Commission, helpful: "How to Identify and Resolve Radio-TV Interference Problems." This booklet is available from the U.S. Government Printing Office, Washington, D.C., 20402, Stock No. 004-000-00345-4.

## Declaration of Conformity

This device complies with Part 15 of FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions. (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

<b>U.S. Responsible Party:</b>	<b>NEC Display Solutions of America, Inc.</b>
<b>Address:</b>	<b>500 Park Blvd, Suite 1100</b>
	<b>Itasca, Illinois 60143</b>
<b>Tel. No.:</b>	<b>(630) 467-3000</b>

Type of Product: Display Monitor  
Equipment Classification: Class B Peripheral  
Model: LCD22WMGX(TFT22W90PS)



*We hereby declare that the equipment specified above conforms to the technical standards as specified in the FCC Rules.*









# さくいん

## 英数字

Apple Macintosh シリーズ	2,10,11
FCC	31,32
OSD	
OSD 画面	17
OSD 操作	9,17~22
画面の調節をする	17~22
自動調節をする	16
OSD 設定	17,18,21
水平位置	17,21
垂直位置	17,21
OSD オートオフ	2,17,18,21
言語切替	17,21
Windows® セットアップ	15

## あ

安全のために必ず守ること	5~7
案内画面/注意画面	
NO SIGNAL	26
サポート外信号	23,26
位相	19,30
色温度設定	17,20,25
Warm	17,20
Normal	17,20
Cool	17,20
s RGB	17,20,29
User	17,20
映像設定	16,17,18,19,24
コントラスト	17,19,24
ブライトネス	17,19,24
DV mode	17,19,29
ガンマ	17,19
DCR	17,19,20,29,31
応答速度	30,31
音声設定	17,20,26
音量	8,17,20,26
バランス	17,20,26
低音	17,20
高音	17,20

## か

回収	27
解像度	22,30,31
各部の名称	
ケーブルフォルダー	3,9,14
信号入力コネクタ	9,31
スタンド	3,10
操作ボタン	→操作ボタン
電源入力コネクタ	9,31
電源ランプ	23,24,26
盗難防止用ロック穴	9
本体正面	8
本体背面	9
画面	
OSD 画面	→OSD
工場プリセットタイミング	22
画面調節 (PC アナログ接続のみ)	17,19,25
クロック	17,19
位相	16,17,19,22,23,25,30
水平位置	17,19
垂直位置	17,19
カラー設定	17,19,20,25
全色強調	17,20
肌色強調	17,20
緑色強調	17,20
青色強調	17,20
自動選択	17,20
デモモード	17,20
規格	
DDC 2B 規格	23,29,31
DDC Ci 規格	22,29,31

DPM	23,29
Plug&Play	23,29
VESA 規格	23,28,30,31
輝度	30,31
機能	
NTAA (No Touch Auto Adjust)	23,30
OSD 機能	17~22
Plug&Play 機能	23,29
簡易表示機能	23
ノータッチオートアジャスト機能	
→機能:NTAA	
パワーマネージメント機能	23,30
画面調節	19
カラー設定	20
自動調節	16
コネクタ	→各部の名称/接続
困ったとき	24~26
NO SIGNAL	26
サポート外信号	26
アフターサービス	27
色がつかない/色がおかしい	26
映像も音も出ない	26
解像度	22,26
画面に何も映らない	24
暗い/表示しない	24
黒点/輝点	25
故障かな?と思ったら	25,26
最適信号	22
残像	7,25,30
修理相談窓口	27
スピーカーから音が出ない!	26
ちらつき	25
電源ランプ	8,24
バックライト	24
表示がおかしい	25
表示されない	24
表示色	25
分配器	25
コントラスト比	30,31

## さ

残像	→困ったとき
視野角	25,30,31
周波数	22,30,31
修理相談窓口	27
仕様	31
応答速度	30,31
外形寸法	31
解像度	22,30,31
画素ピッチ	31
輝度	30,31
コントラスト比	30,31
質量	31
視野角	30,31
周波数	22,30,31
使用環境条件	31
消費電力	31
チルト角度	15,30,31
適合規格等	31
同期信号	31
ビデオ信号	31
表示画素数	30,31
表示色	31
保管環境条件	31
有効表示領域	31
垂直周波数	22,30,31
水平周波数	22,30,31
接続	
2 系統入力	2,10,23
D-SUB15ピン	2,10,11
DVI-A	11,29
DVI-D	2,9~11,29
DVI-I	2,10,11,29

アナログ接続	2,10,16
コネクタとケーブルの対応表	10
角度を調節する	15
信号ケーブルを接続する	11
接地 (アース)	14
電源を入れる	14
電源を接続する	14
ヘッドホンの接続	15
変換アダプター	10
ミニD-SUB15ピン	2,9~11
設定	16
自動調節をする	16
操作ボタン	8
+ / > ボタン	8
- / < ボタン	8
AUTO	8
MENU	8
SOURCE	8
電源スイッチ	→電源

## た

タイミング	22
端子	2,9
チルト角度	15,30,31
テストパターン	16
ツール	16,17,18,22
入力切替	17,22
自動調節 (PC アナログ接続のみ)	8,15,16,17,22
DDC/Ci	17,22,29
オールリセット	17,18,21,22
Aspect	17,22
インフォメーション	17,22
電源	
アースリード線	14
電源コード	3,9,14
電源スイッチ	8
電源電圧	14
電源プラグ	14
電源容量	14
同期信号	22,31

## は〜ら

廃棄する	27
ピクチャー設定	17,19,20,21,25,26
フレームサイズ	17,21
ブライトネス	17,21
コントラスト	17,21
色あい	17,21,25
色の濃さ	17,21,25,26
位置	17,21
ブライトフレーム	17,21,26
ビデオ信号	31
表示画素数	22,30,31
付属品	3
オーディオケーブル	3,12
ケーブルフォルダー	3,14
信号ケーブル	3,10,11
セットアップマニュアル	3
電源コード	→電源
ベーススタンド	3,10
保証書	3,27
ユーティリティディスク	3,15
付録	28
市販のアームを取りつけるとき	28
スタンドの取り外しかた	28
保証とアフターサービス	27
ユーザーメモリー機能	22
用語解説	29,30
リサイクル	27

# NECディスプレイソリューションズ株式会社

本 社 〒108-0023 東京都港区芝浦 4-13-23 (MS 芝浦ビル 10F)